

2019. 9. 18
発行

No.
43

まひかの保育



発行者/愛媛県保育協議会
会長/合田 史宣
作成者/総務広報部会
編集責任者/阿部 直子

発行所/愛媛県保育協議会
松山市持田町三丁目8番15号
愛媛県社会福祉協議会内



♪こんなにたくさん
とれました♪

東保育園
(四国中央市)



せんせい
みて★

おおきくなあれ!



はやくだべたいな

「子どもを見守り 力を引き出す保育を」

愛媛県保育協議会 会長 合田 史宣



何でも成果を出すことが必
要な気がして、何も成果が出
ないと悪いことをしているよ
うな錯覚に陥ることはありま
せんか？

忙しくなる一方の保育の現場でも、早く子ども
を成長させようと躍起になっていたりすること
もあります。特に、保育所保育指針、認定こども
園教育要領が新しくなり、育てて欲しい力が前面
に押し出されると、なお一層子どもの成長に対す
る目が厳しくなってきます。まるでゆっくり成長
することが悪いことであるかのように。でも、成
長変化したところが見えにくいときこそ保育の
踏ん張りどころだと、保育を続けていると分かる
ようになります。目の前にいる子が変わってい
かないように見えるのは、変わるための力を蓄えて
いるからです。力を蓄えている子どもを暖かく見
守ってあげるのが、保育者としての楽しさであり
また専門職としての余裕でもあります。どれだけ
その子に手間をかけたかが、その子の未来を保障
するからです。

私は、子どもの事をみんなで語り合える保育
協議会でありたいと思っています。保育って楽し
いなと会話がはずめば、もっと保育が楽しく素晴
らしいものになると思います。

令和元年度 愛媛県保育協議会役員

今年度の役員改選が行われましたので、次の通りご報告いたします。

会 長…合田 史宣 副会長…龍田三津子、中川恵津子、白川 敦子、阿部 直子
 常務理事…若藤 憲二 監 事…清川 和恵、土井 圭子

◆総務広報部会

No.	氏 名	支部名	施設名	公私	備考
1	阿部 直子	伊方町	伊方保育所	公	正
2	大野 妙	西予市	下宇和保育園	私	副
3	高橋 尚子	四国中央市	東保育園	私	
4	藤本久美子	今治市・上島町	菊間保育所	公	
5	都築美恵子	北宇和郡	小松保育所	公	

総務広報部会は、各研修会に参加された先生方の感想やアンケートなど皆様からの声も取り上げて、発信するようにしたいと思います。また、各園や各支部の取り組みなど様々な保育情報を「えひめの保育」や「ホームページ」に掲載して、充実した内容をお届けしていきたいと思ひます。ご協力よろしくお願ひします。

部会長 阿部 直子

◆調査研究部会

No.	氏 名	支部名	施設名	公私	備考
1	白川 敦子	西条市	玉津保育園	私	正
2	馬喰田美樹	松山市	山越保育園	公	副
3	井田 仁美	新居浜市	めぐみ保育園	私	
4	成木 睦美	伊予市	下灘保育所	公	
5	小笠原房代	宇和島市	岩松保育園	公	
6	田手 浩子	南宇和郡	御荘保育所	公	

調査研究部会は、子どもの育ちや保育に関わる事についての疑問を、各々の施設が抱え込むのではなく多くの施設での共通課題を拾い出し調査し、会員の皆様に資料を提供することが主な目的です。

今年度から年1回調査することになりました。他の施設に聞いてみたいこと、調べてほしいこと等ありましたら、遠慮なくお申し出ください。

部会長 白川 敦子

◆研修部会

No.	氏 名	支部名	施設名	公私	備考
1	中川恵津子	松山市	幼保連携型認定こども園 法龍寺こども園	私	正
2	福家 章二	西条市	幼保連携型認定こども園 さくら保育園	私	副
3	高橋千代理	新居浜市	新居浜保育園	公	
4	相田 直子	今治市・上島町	富田保育所	公	
5	高市妃登美	東温市・久万高原町	双葉保育所	公	
6	鈴木 裕美	松山市	南保育園	私	
7	富谷 円枝	松山市	白百合保育園	私	
8	上野由美子	宇和島市	宇和島済美保育園	私	

研修部会は、大きく変わりゆく保育状況をふまえ、「保育士等キャリアアップ研修」をはじめとし、保育者の「資質向上」のみならず、職務内容に応じた「専門性の向上」を図るための充実した研修を行い保育所全体のレベルアップにつなげていきたいと思ひます。

部会長 中川恵津子

◆実践研修部会(保育士部会)

No.	氏 名	支部名	施設名	公私	備考
1	龍田三津子	今治市・上島町	龍門保育園	私	正
2	垂水 知縫	西条市	東予中央保育所	公	副
3	喜安 初枝	伊予郡	岡田保育園	私	
4	高橋 裕子	四国中央市	寒川保育園	公	
5	増田 秀子	松山市	つばき保育園	公	
6	高見 恵美	喜多郡	こぼと保育園	公	
7	中野八千代	大洲市	徳森保育所	公	
8	赤坂 千津	八幡浜市	日土保育所	公	

実践研究部会は、「保育士部会」の別名のとおり、全国保育士会と連携を取りながら「実践研究」に取り組んでおります。保育士・保育教諭だけでなく、保育所職員全体の資質向上に少しでもお役に立てる研修会を開催したいと思っております。研修会にどんどん参加していただき、視野を広げ、ご自身のレベルアップになればいいなと思ひます。よろしくお願ひします。

部会長 龍田三津子

令和元年度の私たちの取り組み

本会では、1年間を通じ様々な研修会を実施しています。ここでは、各研修会の主な内容や参加された先生方の研修後の感想を掲載させていただきます。

教育・保育施設初級職員研修会

5月22日(水)～23日(木) 県総合社会福祉会館

○講義Ⅰ「保育士とこころ」

講師 じょうじのひろば ぐーちよきばー 代表 越智 ミドリ氏

○講義Ⅱ「実技」『伝承あそびは子どもの育ちを助けます』

～よく見る、よく聴く、よくまねる～

講師 絵本とおもちゃの店 うさぎのしっぽ 曾我部 安子氏

○講義Ⅲ「愛の子育て・愛の保育」『愛されて育つ子どもたち』

講師 松山東雲女子大学 心理子ども学科 准教授 出原 大氏

教育・保育施設初級職員研修会に参加して

(今治市)朝倉保育園 保育士 岡本 早苗

私は、二日間にわたり研修会に参加し、保育士として働くために必要な事や伝承遊び、愛の保育、日常保育や行事に活かせる運動遊びについて学びを深める事ができました。

一日目の講義では、保育士になり働き始めて一カ月と少ししか経っていない私にとって凄く心に響く言葉がたくさんありました。その中でも保育経験が長い先生と自分を比べてしまうのではなく、一日の保育を一生懸命行い、毎日を精一杯生きる事を子どもに伝えていく事、どんな時も保護者や子どもに笑顔で「おはよう」と挨拶をする事がどんな素晴らしい保育技術にも勝るものはないという先生の言葉が心に残っています。伝承遊びでは、先生の動きをよく見て、よく聴いて、よく真似る大切さを実際に音楽に合わせてあやとりやけん玉をする事によってよく理解する事ができました。また、子どもにとって最も大切な事は「遊ぶ」ことであり自分自身も子どもが興味を示す物に関心を持ち、ひたすら夢中になり子どもたちと遊びこみ楽しむ事が大切だと感じました。

二日目の講義では、保育する中で一番大切である「愛」について学ぶ事ができました。普段の自分の保育を見つめ直すと自分に余裕がなく、子どもの話をゆっくりと聞けてあげられていない気がします。同じ時間を子どもと過ごす中で、子どもに対し愛を持って関わり、受け止め子どもが喜びや自身の心を持つような保育を心がけようと思いました。

運動遊びでは、音楽に合わせて体を十分に動かす心地良さを感じる事ができました。保育者自身が楽しむ事で子ども自身も楽しめるという事を学ぶ事ができました。二日間の研修で学んだ事をこれからの日々の保育で生かしていけるように頑張りたいです。

保育関係者交流セミナー ～教育・保育施設の就職・転職説明会&トークセッション～

就職・転職説明会



6月8(土) 松山市総合コミュニティーセンター

トークセッション



ブース紹介



今年度は、丹下真奈さんに出展ブース紹介や施設職員とのトークセッションをインタビュー形式で行っていただきました。参加した学生や一般の方たちは、現場で働く保育士からのエールを熱心に聞いたり、各ブースで就職情報をメモしたりする姿が多く見られました。このような県保育協議会の活動が就職へのきっかけとなり保育人材確保につながっていくのではないかと思います。次年度もぜひ、皆様からのブース出展等のご協力をお願いします。

【総来場者数】 248名
 (学生103名・一般11名・養成校職員9名・ブース参加者100名・スタッフ等20名)
 【出展ブース】 35か所(参加施設数64か所)

保育士等キャリアアップ研修①乳児保育

6月27日(木)～28日(金) アイテムムえひめ

- 講義Ⅰ「乳児保育の環境」
- 講義Ⅱ「乳児への適切な関わり」
- 発表・グループ討議「子どものより良い育ちにむけた関係機関とのネットワーク」

講師 お茶の水女子大学いずみナースリー 主任保育士
 同席 人間発達教育研究センター研究協力員 菊地 知子氏

- 講義Ⅲ「乳児保育の意義」
- 講義Ⅳ「乳児の発達に応じた保育内容」
- 講義Ⅴ「乳児保育の指導計画・記録及び評価」

講師 東京家政大学大学院 人間生活学総合研究科
 児童学児童教育学 客員教授 佐藤 暁子氏

保育士等キャリアアップ研修②乳児保育を受講して

(松山市)白百合保育園 川端 祐美
 今回受講した「乳児保育」の研修において、保育士としての感性・心と体が新たにふるい立つ思いとなった良き研修でした。

日々の保育の中で、温かい眼差しで子どもたちを見守っているか？監視の見守りの中では子どもは育たない。温かさで明るさの中で、子どもは育つ。私たちが乳児の隣で生き生きわくわく一緒に生活し、楽しさを共有することが大事。乳児自身が大事にされていると感じ、安心できる居心地の良い場を提供できるように、今後さらに人的環境を配慮していきたいと思いました。室内環境の紹介では、先生方の手作りのこだわり、温かさが感じられる工夫がありとても参考になりました。自園においても手作りの温かい雰囲気



大切にしている保育を行っているので、共感すると共に、講師の先生の「せっかく手作りした作品がごみ感覚にならないように」とのことには苦笑しながら、手作りの良さを最大限に発揮し、最善の注意を払い心をつくした手作りの品を子どもたちに提供できたら、遊びがさらに広がるのではないかと自分自身わくわくしてきました。さらに、「乳児保育において今日も上手くまわせた」と考えていないかの問いに対して、自分自身も多めに反省しました。子どもたちが一人ひとりを人として尊重し、気持ちに沿って受け入れ心地良さを保つことができた一日であったか？振り返りをするのを心に留め、これからの保育を進めて行きたいと思えます。また保護者との関係においては、相手を良く理解するためには、聴き上手になり信頼関係を築けるように、「つながり合う」との大切さを学びました。

四国ブロック保育研究大会

7月18日(木)～19日(金) オークラホール丸亀

- 基調報告Ⅰ 講師 全国保育協議会会長 万田 康氏
- 基調報告Ⅱ 全国保育士会会長 村松 幹子氏
- 中央情勢報告 厚生労働省子ども家庭局保育課 保育指導専門官 鎮目 健太氏
- 記念講演「未来の年表 人口減少日本で保育に起きる変化」 講師 作家・ジャーナリスト 河合 雅司氏
- 分科会テーマ子どもの育ちを保障する

① 新たな時代の保育実践 ～すべての子どもにむけて～

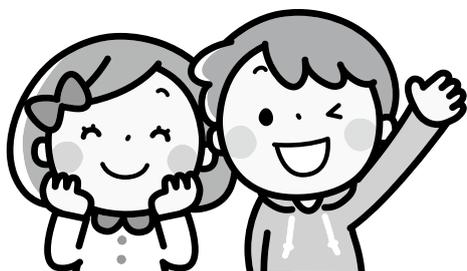
愛媛県 高山保育所 主任保育士 岡本 八重氏
 徳島県 名東保育所 保育士 天羽 綾子氏

四国ブロック保育研究大会分科会Ⅰに参加して

(四国中央市)白百合豊岡保育園 梶原 ゆかり

大会で、いろいろな支援や関わりについて3園の取組について発表を聞かせていただきました。その中で、子どもたちが主体的に遊べる環境づくりについて、職員が写真や図を貼り出した所に付箋を貼って情報を共有し合い、皆で考えを出し話し合っていることはとても良いと思いました。また、一人一人に合った支援を考え、いくことは大切だけれども、その支援の仕方が子どものためになっているのかをしっかりと考えていかなければならないことを強く感じました。助言の松井先生の話の中で、設定された環境では、子どもたちは保育者の期待に応えようとして本来の姿で遊べていないのではないかと設定されていない環境だからこそ子ども本来の主体性が出てくるのではないかとのお話がありました。

子どもたちが主体的に遊べる環境づくりをすることは難しいですが、少しでも子どもたちが主体的に遊べる姿が見られる環境を職員間で話し合い、考えていきたいと思います。



第64回保育事業研修大会

7月26日(金) 松山市民会館

○講演Ⅰ「全国保育協議会の取り組みと制度動向への対応」

講師 全国保育協議会 副会長 森田 信司氏

○講演Ⅱ「子どもの発達過程と保育実践」

講師 松山東雲短期大学 保育科 特任教授 児島 雅典氏

○講演・パフォーマンス「花が教えてくれること〜子どもの未来に花を咲かせるために〜」

講師 芸術家・華道家 前野 博紀氏

県保育事業研修会に参加して

(伊方市)伊方保育所 佐々木 亜佳音
 保育事業研修大会に参加させていただき、子育て支援、地域社会から求められる保育を十分に理解し、またすべての子どもの最善の利益を保障する子育て支援・教育・保育を考え、今以上に質の向上に努めなければいけないことを再確認しました。

基調講演では、全国保育協議会副会長の森田先生の「子ども・子育て支援新制度 教育・保育施設をとりまく課題と対応」について話を聞きました。今年度10月より実施される保育の無償化についての話の中で、理念としての「量の拡充」「質の向上」をしっかりとらえ目指していかなければいけないことであるということ学びました。

児嶋先生の講演では、10の姿より子どもの発達と保育について学びました。どうして今になって10の姿をとらえるようになったか。保育現場等に対する社会や小学校、そして行政の不信からではないかと思う。子どもの発達をしっかりと理解できているのかと問い詰めた形だと思う。言葉にはっとしました。もう一度しっかりと子どもと子どもの発達過程を見直し、自覚的・意識的に保育計画を立てていく必要があると思いました。そして私たち保育士は10の姿を「ゴール」と考え、そこに至る道筋を、子どもたちに具体的に示すことができるよう学び、保育をしていかなければいけないと改めて考えさせられました。

前野先生のパフォーマンス・講演では花もいろいろな花があり、命を保つためにはそれぞれ手当ての仕方が違う。子どもたちにもそれぞれ個性があって関わり方も違う。どのような関わり方をすることできるきれいな花を咲かせるのか、それを保育士が知る。ことが大事なのではないかと話され、心に残りました。命の大切さについて考え伝えられるよう保育に努めていきたいと思います。

今回の研修に参加し、子どもの育ちや保育の状況の変化から、もっと幅広い専門知識の向上や、保育を考える必要があることを学ぶことができました。また、地域・保護者への支援の仕方などももっと学んでいき、適切な支援の知識と理解を深め、日々の保育に努めていきたいと思います。



令和元年度 愛媛県保育協議会 会長表彰受賞おめでとうございます!

No.	支部名	施設名	氏名
1	松山市	桑原保育園	田中 君子

長年にわたり、本県の保育事業の発展に寄与された方を 令和元年7月26日(金)に開催された第64回保育事業研修大会において表彰しました。このたびは誠におめでとうございます。



令和元年度 研修等日程のお知らせ

No.	名 称	期 日	会 場
1	教育・保育施設初級職員研修会	5/22(水)~23(木)	愛媛県総合社会福祉会館
2	保育関係者交流セミナー	6/8(土)	松山市総合コミュニティセンター
3	保育士等キャリアアップ研修専門分野別研修「①乳児保育」	6/27(木)~28(金)	アイテムえひめ
4	四国ブロック保育研究大会	7/18(木)~19(金)	オークラホテル丸亀
5	第64回愛媛県保育事業研修大会	7/26(金)	松山市民会館
6	保育士等キャリアアップ研修専門分野別研修「②幼児教育」	8/6(火)~7(水)	アイテムえひめ
7	保育士等キャリアアップ研修専門分野別研修「③障がい児保育」	8/22(木)~23(金)	
8	保育士等キャリアアップ研修専門分野別研修「④食育・アレルギー対応」	9/10(火)~11(水)	
9	保育士等キャリアアップ研修専門分野別研修「⑤保健衛生・安全対策」	10/1(火)~2(水)	
10	保育士等キャリアアップ研修専門分野別研修「⑥保護者支援・子育て支援」	11/25(月)~26(火)	
11	四国ブロック保育士会リーダーセミナー	12/16(月)	愛媛県総合社会福祉会館
12	教育・保育施設長研修会	12/17(火)	
13	保育士等キャリアアップ研修「⑦マネジメント研修」	1/28(火)~29(水)	アイテムえひめ
14	保育士等キャリアアップ研修「⑧保育実践研修」	2/12(水)~13(木)	
15	四国ブロック保育組織次世代リーダー研修会	2月	



おすすめの本



ねこのピート



【作】
エリック・リトウイン
【訳】
大友 剛
【絵】
ジェームス・ディーン
【文字画】
長谷川 義史

読み手と聞き手が繰り返し、歌いながら楽しめる絵本です。

ぶたイヌくんってなんてなく？



【作・絵】
キース・モアビーク
【訳】
きたむら まさお
【出版社】
大日本絵画

上と下を組みあわせて、見たこともない動物にする遊びはありますが、立体にしたのがユニークな発想です。顔と体が別々にわかれ、変身します。顔がぶたで体がイヌなら、いったいどんな声で鳴くのかわかるかな？

どれどれどこどこ



【文】
中村 牧江
【絵】
林 健造

観察力と想像力が育ちます。「0歳から100歳までの絵本」です。一緒に探して楽しめます。

花さき山



【作】
斎藤 隆介
【絵】
滝平 二郎
【出版社】
岩崎書店

山菜をとりについて、山ばに会ったあや。やさしいことをすると美しい花がひとつ咲くという花さき山の感動のものがたり。心にのこる名作絵本です。

しろくまのパンツ



【作】
tupera tupera
(亀山達也・中川敦子)
【発行者】
若月 真知子
【出版社】
ブロンズ新社

お互いをおもいやれば、みんながうれしい気持ちになるよ！「おもいやりのある子に育てたい」という親の願いに答える絵本です。

絵本の紹介をさせていただきます。子ども達は絵本が大好きです。感性が最も発達する幼児期に、さまざまな絵本を読み聞かせてあげることは、子どもが自分で考えていく力を身につけるために、大切なことだと思います。豊かな「想像」からは豊かな「創造」が生まれます。

乳幼児期はイメージが育つ時期なので、この時期に色々な絵本を読み聞かせてあげて下さい。子ども達は、絵本を通して大好きな人と遊びたいことを意識することで、「絵を読む楽しさ」「想像する楽しさ」「会話する楽しさ」が育っていくようです。



災害特集

～「災害から1年」～



平成30年7月7日の豪雨災害により通園路の崩壊や孤立状態の地区もあり、園を再開したのは12日でした。まわり一面汚泥の中、保護者や地域の人達の協力を得て歩ける道だけ確保し登園できたのは8名の子も達でした。電気は回復していましたが、断水は続いていました。給食は非常食のレトルトカレー、みんなで一つの部屋であそびました。子ども達は平常よりも明るく振る舞っているようにもみえました。その後、週2回のパン食、調理員が1時間もかかる他園にて給食を作り搬送したりしながらの復興。20日には水道水が使えるようになり、月末にはほとんどの子どもが登園してくるようになりました。

宇和島市ではこの災害で閉園になった保育園もあります。外遊びも水遊びもできなかった昨年の夏は辛い経験でしたが、いろいろな方からの支援や励まし支えには得るものも大きく、感謝の気持ちはきつと将来に繋がってゆくこと信じています。

未だ避難訓練の合図や大雨に涙する子もいますが、命の大切さを感じ、これからも子ども達に寄り添った保育を職員一同心がけてゆきたいと思っています。

宇和島市立玉津保育園 園長 山口 淑子